

【参考資料3】需要喚起方策の検討

(1) 県民・企業・観光客等のニーズ把握

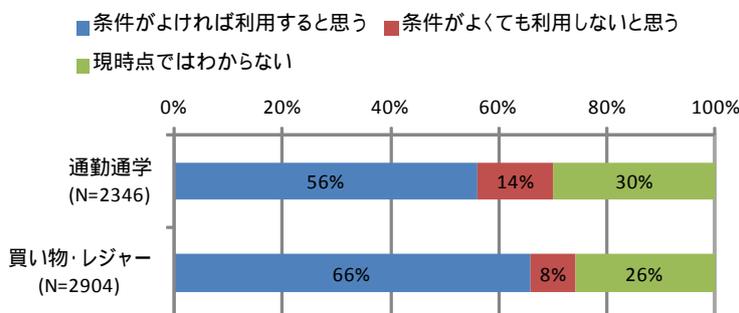
「沖縄における鉄軌道をはじめとする新たな公共交通システムに係る県民意識等実態把握調査(平成25年度)」(内閣府)をもとに、県民、企業、観光客、旅行関係業、交通事業者の鉄軌道の利用ニーズ、利用条件等を把握する。

1) 鉄軌道の利用意向

① 県民の利用意向

住民の過半数は、通勤通学や買い物・レジャーにおいて、鉄軌道を「条件がよければ利用すると思う」と回答している。また、「現時点ではわからない」が3割前後みられる。

問. 仮に、沖縄本島を南北に縦貫する鉄道等が整備された場合、利用すると思いますか。



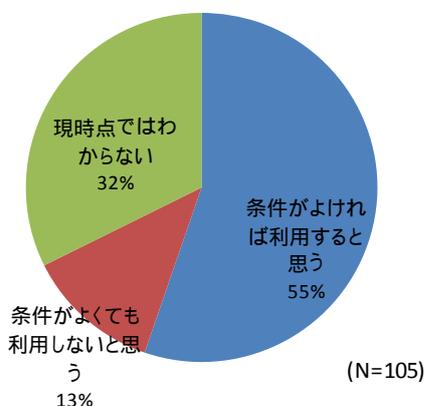
出典:「沖縄における鉄軌道をはじめとする新たな公共交通システムに係る県民意識等実態把握調査(平成25年度)」(内閣府)

図 鉄軌道の利用意向(県民)

② 企業の利用意向

企業の過半数は、営業打合せ等で、鉄軌道を「条件がよければ利用すると思う」と回答している。また、「現時点ではわからない」が3割前後みられる。

問. 仮に、沖縄本島に南北に縦貫する鉄道等が整備された場合、営業打合せ等(物流は除く)で利用すると思いますか。



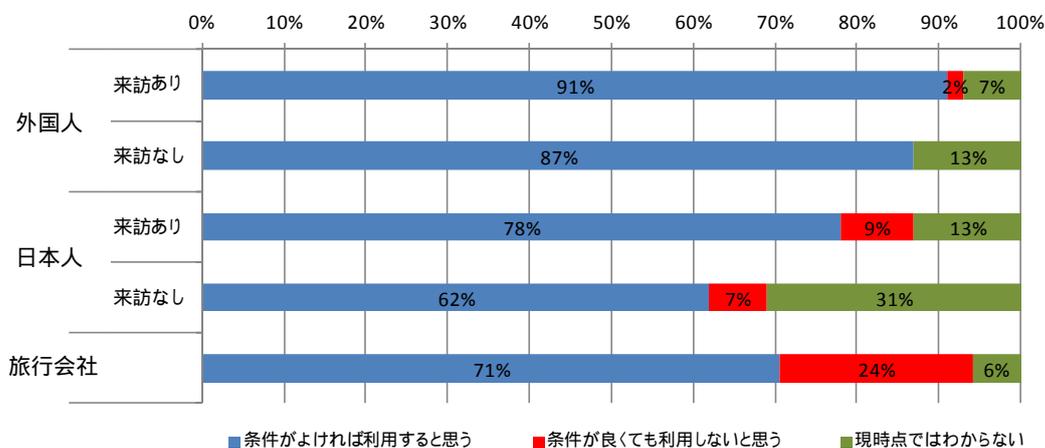
出典:「沖縄における鉄軌道をはじめとする新たな公共交通システムに係る県民意識等実態把握調査(平成25年度)」(内閣府)

図 鉄軌道の利用意向(企業)

### ③ 観光客の利用意向

観光客の6～9割は、鉄軌道を「条件がよければ利用すると思う」と回答している。日本人に比べ、外国人の利用意向が高くなっている。

問．沖縄本島に鉄道が整備された場合にあなたは利用しますか。



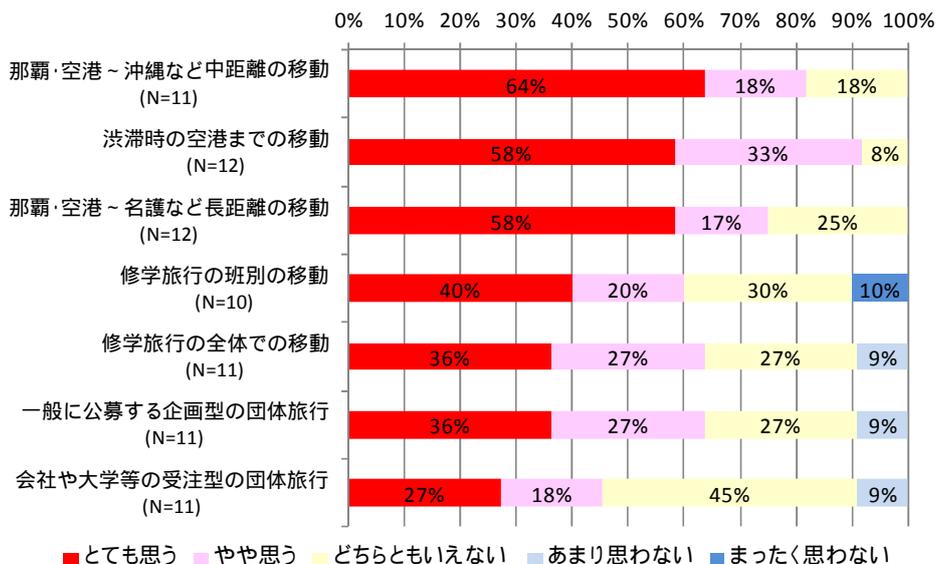
出典：「沖縄における鉄軌道をはじめとする新たな公共交通システムに係る県民意識等実態把握調査(平成25年度)」(内閣府)

図 鉄軌道の利用意向(観光客)

### ④ 旅行関係業者の利用意向

団体旅行では「那覇・空港～沖縄・名護などの中長距離の移動」「渋滞時の空港までの移動」での利用可能性が高いと回答している旅行会社が多い。

問．どのような状況で、鉄道等を利用する可能性が高いと思われますか。



出典：「沖縄における鉄軌道をはじめとする新たな公共交通システムに係る県民意識等実態把握調査(平成25年度)」(内閣府)

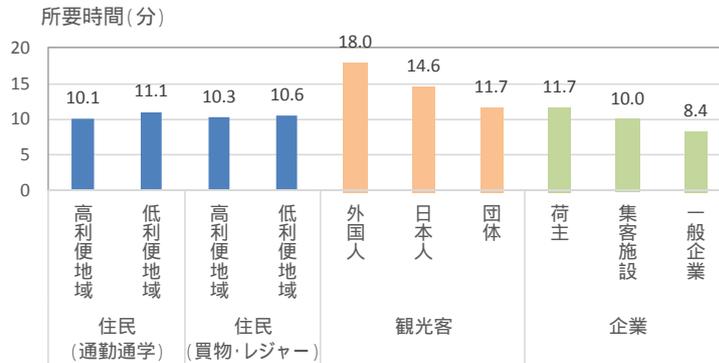
図 団体旅行における鉄軌道の利用可能性(旅行関係業者)

## 2) 鉄軌道の利用条件

### ① 駅までの所要時間の利用条件

鉄軌道利用のための最寄り駅までの徒歩での所要時間は、住民と企業は平均 10 分前後、観光客は 12～18 分となっている。

問. 駅までの徒歩での所要時間が何分までであれば利用すると思いますか。



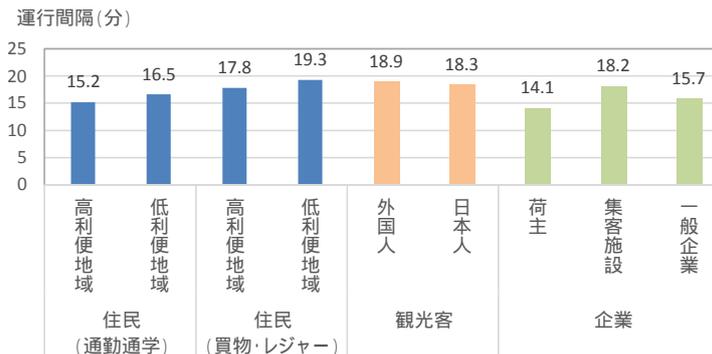
出典：「沖縄における鉄軌道をはじめとする新たな公共交通システムに係る県民意識等実態把握調査(平成 25 年度)」(内閣府)

図 鉄軌道利用のための最寄り駅までの徒歩での所要時間の条件

### ② 運行間隔の利用条件

鉄軌道利用のための運行間隔の条件は、住民の平均 15～19 分間隔、企業は平均 14～18 分間隔、観光客は平均 18～19 分間隔となっている。

問. 運行間隔がどのくらいまでであれば利用すると思いますか。



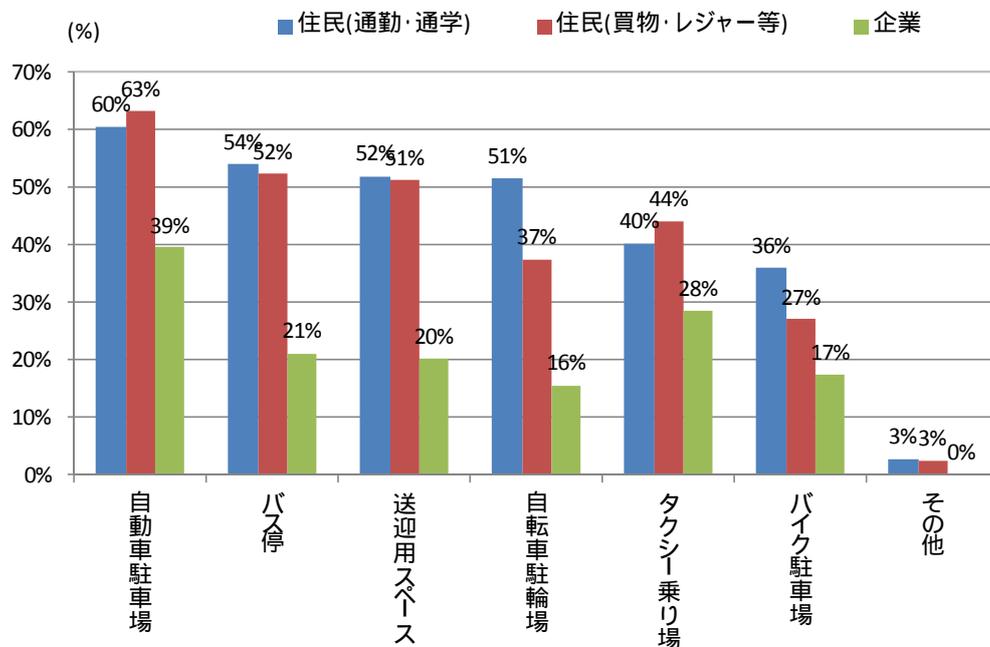
出典：「沖縄における鉄軌道をはじめとする新たな公共交通システムに係る県民意識等実態把握調査(平成 25 年度)」(内閣府)

図 鉄軌道利用のための運行間隔の条件

### ③ 駅での乗り継ぎ施設の利用条件

駅に必要な乗り継ぎ施設として、県民の過半数が「自動車の駐車場」「バス停」「送迎用のスペース」「自転車駐輪場」を挙げており、自動車、バス、自転車によるアクセス確保は需要喚起の上で重要な条件と考えられる。

問．鉄道等を利用するにあたり、駅にどのような乗り継ぎの施設が必要になりますか。(いくつでも)



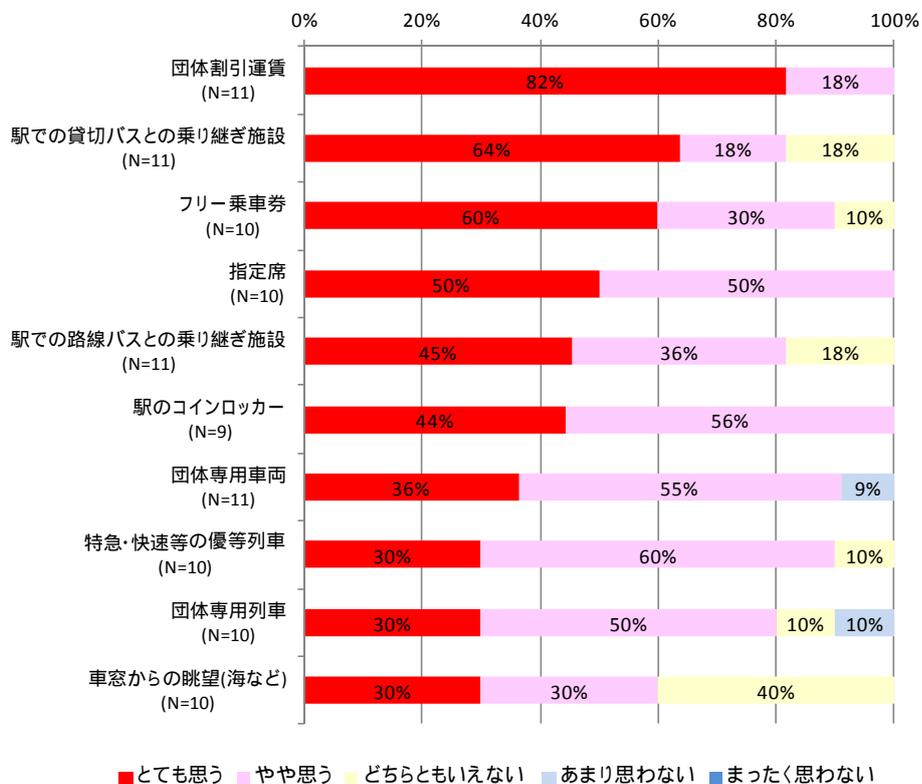
出典：「沖縄における鉄軌道をはじめとする新たな公共交通システムに係る県民意識等実態把握調査(平成 25 年度)」(内閣府)

図 鉄軌道利用のために駅に必要な乗り継ぎ施設 (県民、企業)

3) 団体旅行での鉄軌道利用に必要なサービス・施設

団体旅行で求められるサービスとして、「団体割引運賃」「駅での貸切バスとの乗り継ぎ施設」「フリー乗車券」などへのニーズが高くなっている。

問. 団体旅行で、鉄道等を利用するにあたり、どのようなサービス・施設が必要になると思いますか。



出典：「沖縄における鉄軌道をはじめとする新たな公共交通システムに係る県民意識等実態把握調査(平成 25 年度)」(内閣府)

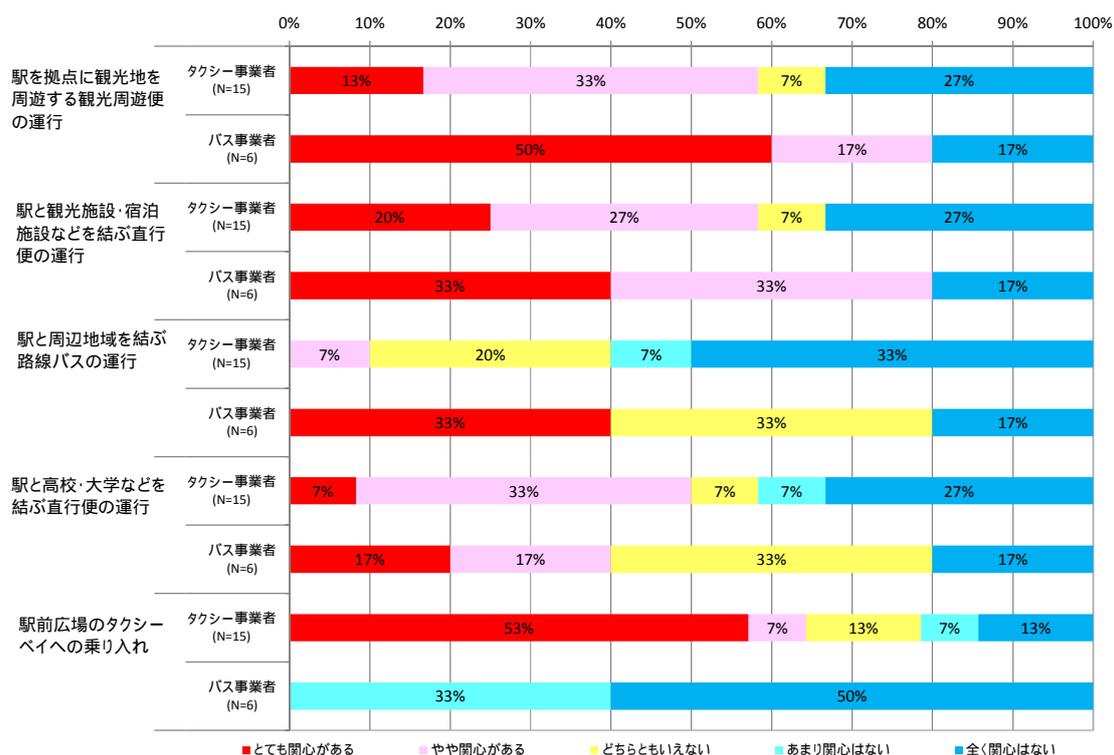
図 団体旅行での鉄軌道利用に必要なサービス・施設 (旅行関係業者)

#### 4) 交通事業者のフィーダー交通運行に対する関心

バス事業者においては、「駅を拠点に観光地を周遊する観光周遊便の運行」「駅と観光施設・宿泊施設などを結ぶ直行便の運行」など観光客を対象としたバスの運行や、「駅と周辺地域を結ぶ路線バスの運行」への関心が比較的高くなっている。

タクシー事業者においては、「駅前広場のタクシーベイへの乗り入れ」「駅と観光施設・宿泊施設などを結ぶ直行便の運行」への関心が比較的高くなっている。

問 . 仮に、沖縄本島を南北に縦貫する鉄道等が整備された場合、貴社では鉄道等連携したどのような取り組みに関心がありますか。



出典：「沖縄における鉄軌道をはじめとする新たな公共交通システムに係る県民意識等実態把握調査(平成 25 年度)」（内閣府）

図 交通事業者のフィーダー交通運行に対する関心

(2) 短距離割引運賃の事例

① 短距離割引運賃の実施概要

表 ゆいレール「おとなりきっぷ」の実施概要

大項目	運賃施策																																																																																																																																																																																																																																																
中項目	短距離割引																																																																																																																																																																																																																																																
事例名	ゆいレール「おとなりきっぷ」																																																																																																																																																																																																																																																
内容	<p>・隣の駅(1駅区間)の運賃が大人220円(小児110円)のところ、100円(小児50円)で乗車可能</p> <p>・SFカード利用時は、1駅区間乗車時に、改札機にて100円(大人運賃)が引かれる。(小児が利用する場合は、発売機にて乗車券購入が必要。)</p> <p>・きっぷ所持の方1名に対し、幼児2名まで無料。</p> <p style="text-align: center;"><b>平成23年2月1日(火)以降の運賃</b></p> <p><b>【普通旅客運賃】 ※おとなりきっぷ(1駅区間)のご利用は100円です。</b></p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>那覇空港</td> <td>220</td> <td>220</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>290</td> <td>290</td> <td>290</td> <td>290</td> <td>320</td> <td>320</td> <td>320</td> <td>320</td> </tr> <tr> <td>赤塚</td> <td>220</td> <td>220</td> <td>220</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>290</td> <td>290</td> <td>290</td> <td>290</td> <td>290</td> <td>320</td> <td>320</td> </tr> <tr> <td>小禄</td> <td>220</td> <td>220</td> <td>220</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>290</td> <td>290</td> <td>290</td> <td>290</td> <td>290</td> <td>320</td> <td>320</td> </tr> <tr> <td>豊武山 分館</td> <td>220</td> <td>220</td> <td>220</td> <td>220</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>290</td> <td>290</td> <td>290</td> <td>290</td> <td>320</td> <td></td> </tr> <tr> <td>壺川</td> <td>220</td> <td>220</td> <td>220</td> <td>220</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>290</td> <td>290</td> <td>290</td> <td>290</td> <td></td> </tr> <tr> <td>旭橋</td> <td>220</td> <td>220</td> <td>220</td> <td>220</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>290</td> <td>290</td> <td>290</td> <td>290</td> <td></td> </tr> <tr> <td>県庁前</td> <td>220</td> <td>220</td> <td>220</td> <td>220</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>290</td> <td></td> </tr> <tr> <td>美求橋</td> <td>220</td> <td>220</td> <td>220</td> <td>220</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>290</td> <td></td> </tr> <tr> <td>牧志</td> <td>220</td> <td>220</td> <td>220</td> <td>220</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td></td> </tr> <tr> <td>安里</td> <td>220</td> <td>220</td> <td>220</td> <td>220</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td></td> </tr> <tr> <td>おもろ まろ</td> <td>220</td> <td>220</td> <td>220</td> <td>220</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td></td> </tr> <tr> <td>古島</td> <td>220</td> <td>220</td> <td>220</td> <td>220</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td></td> </tr> <tr> <td>西立 渡路前</td> <td>220</td> <td>220</td> <td>220</td> <td>220</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td></td> </tr> <tr> <td>橋保</td> <td>220</td> <td>220</td> <td>220</td> <td>220</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td></td> </tr> <tr> <td>首里</td> <td>220</td> <td>220</td> <td>220</td> <td>220</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td>260</td> <td></td> </tr> </table> <p>小児・障害者割引の普通旅客運賃</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td>220円 区間</td> <td>260円 区間</td> <td>290円 区間</td> <td>320円 区間</td> </tr> <tr> <td>小児</td> <td>110</td> <td>130</td> <td>150</td> <td>160</td> </tr> <tr> <td>障害者(大人)</td> <td>110</td> <td>130</td> <td>150</td> <td>160</td> </tr> </table> <p>※おとなりきっぷ(1駅区間)ご利用の場合、小児は50円となります。          “おとなりきっぷ”は障害者割引はございません。</p> <p style="text-align: right;">出典：沖縄都市モノレール株式会社ホームページ  <a href="http://www.yui-rail.co.jp/">http://www.yui-rail.co.jp/</a></p>	那覇空港	220	220	260	260	260	260	290	290	290	290	320	320	320	320	赤塚	220	220	220	260	260	260	260	290	290	290	290	290	320	320	小禄	220	220	220	260	260	260	260	290	290	290	290	290	320	320	豊武山 分館	220	220	220	220	260	260	260	260	290	290	290	290	320		壺川	220	220	220	220	260	260	260	260	260	290	290	290	290		旭橋	220	220	220	220	260	260	260	260	260	290	290	290	290		県庁前	220	220	220	220	260	260	260	260	260	260	260	260	290		美求橋	220	220	220	220	260	260	260	260	260	260	260	260	290		牧志	220	220	220	220	260	260	260	260	260	260	260	260	260		安里	220	220	220	220	260	260	260	260	260	260	260	260	260		おもろ まろ	220	220	220	220	260	260	260	260	260	260	260	260	260		古島	220	220	220	220	260	260	260	260	260	260	260	260	260		西立 渡路前	220	220	220	220	260	260	260	260	260	260	260	260	260		橋保	220	220	220	220	260	260	260	260	260	260	260	260	260		首里	220	220	220	220	260	260	260	260	260	260	260	260	260			220円 区間	260円 区間	290円 区間	320円 区間	小児	110	130	150	160	障害者(大人)	110	130	150	160
那覇空港	220	220	260	260	260	260	290	290	290	290	320	320	320	320																																																																																																																																																																																																																																			
赤塚	220	220	220	260	260	260	260	290	290	290	290	290	320	320																																																																																																																																																																																																																																			
小禄	220	220	220	260	260	260	260	290	290	290	290	290	320	320																																																																																																																																																																																																																																			
豊武山 分館	220	220	220	220	260	260	260	260	290	290	290	290	320																																																																																																																																																																																																																																				
壺川	220	220	220	220	260	260	260	260	260	290	290	290	290																																																																																																																																																																																																																																				
旭橋	220	220	220	220	260	260	260	260	260	290	290	290	290																																																																																																																																																																																																																																				
県庁前	220	220	220	220	260	260	260	260	260	260	260	260	290																																																																																																																																																																																																																																				
美求橋	220	220	220	220	260	260	260	260	260	260	260	260	290																																																																																																																																																																																																																																				
牧志	220	220	220	220	260	260	260	260	260	260	260	260	260																																																																																																																																																																																																																																				
安里	220	220	220	220	260	260	260	260	260	260	260	260	260																																																																																																																																																																																																																																				
おもろ まろ	220	220	220	220	260	260	260	260	260	260	260	260	260																																																																																																																																																																																																																																				
古島	220	220	220	220	260	260	260	260	260	260	260	260	260																																																																																																																																																																																																																																				
西立 渡路前	220	220	220	220	260	260	260	260	260	260	260	260	260																																																																																																																																																																																																																																				
橋保	220	220	220	220	260	260	260	260	260	260	260	260	260																																																																																																																																																																																																																																				
首里	220	220	220	220	260	260	260	260	260	260	260	260	260																																																																																																																																																																																																																																				
	220円 区間	260円 区間	290円 区間	320円 区間																																																																																																																																																																																																																																													
小児	110	130	150	160																																																																																																																																																																																																																																													
障害者(大人)	110	130	150	160																																																																																																																																																																																																																																													

大項目	運賃施策																																																																																																																										
中項目	短距離割引																																																																																																																										
事例名	多摩都市モノレール「100円区間」の設定																																																																																																																										
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隣の駅（1駅区間）を利用する場合には、初乗り区間運賃 200 円（小児 100 円）のところ、100 円（小児 50 円）で乗車可能</li> <li>・100 円区間は特別割引区間であり、定期券料金、回数券は適用外である。</li> <li>・IC カードで自動改札機を通過しても利用可能である。</li> </ul> <p>（上北台駅から各駅への運賃表）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">駅名</th> <th rowspan="2">営業キロ</th> <th rowspan="2">4所要時間</th> <th rowspan="2">普通運賃 (小児)</th> <th colspan="3">通勤定期</th> <th colspan="3">通学定期</th> </tr> <tr> <th>1か月</th> <th>3か月</th> <th>6か月</th> <th>1か月</th> <th>3か月</th> <th>6か月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上北台</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>桜街道</td> <td>0.7</td> <td>2</td> <td>100 (50)</td> <td>7,800</td> <td>22,230</td> <td>42,120</td> <td>4,200</td> <td>11,970</td> <td>22,680</td> </tr> <tr> <td>玉川上水</td> <td>1.5</td> <td>4</td> <td rowspan="2">200 (100)</td> <td rowspan="2">7,800</td> <td rowspan="2">22,230</td> <td rowspan="2">42,120</td> <td rowspan="2">4,200</td> <td rowspan="2">11,970</td> <td rowspan="2">22,680</td> </tr> <tr> <td>砂川七番</td> <td>2.5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>泉体育館</td> <td>3.0</td> <td>7</td> <td rowspan="2">250 (130)</td> <td rowspan="2">9,750</td> <td rowspan="2">27,790</td> <td rowspan="2">52,650</td> <td rowspan="2">5,250</td> <td rowspan="2">14,970</td> <td rowspan="2">28,350</td> </tr> <tr> <td>立飛</td> <td>3.6</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>高松</td> <td>4.2</td> <td>10</td> <td rowspan="3">300 (150)</td> <td rowspan="3">11,700</td> <td rowspan="3">33,350</td> <td rowspan="3">63,180</td> <td rowspan="3">6,300</td> <td rowspan="3">17,960</td> <td rowspan="3">34,020</td> </tr> <tr> <td>立川北</td> <td>5.4</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>立川南</td> <td>5.8</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>柴崎体育館</td> <td>6.5</td> <td>16</td> <td rowspan="2">350 (180)</td> <td rowspan="2">13,650</td> <td rowspan="2">38,910</td> <td rowspan="2">73,710</td> <td rowspan="2">7,350</td> <td rowspan="2">20,950</td> <td rowspan="2">39,690</td> </tr> <tr> <td>甲州街道</td> <td>8.0</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>万願寺</td> <td>9.3</td> <td>21</td> <td rowspan="7">400 (200)</td> <td rowspan="7">15,600</td> <td rowspan="7">44,460</td> <td rowspan="7">84,240</td> <td rowspan="7">8,400</td> <td rowspan="7">23,940</td> <td rowspan="7">45,360</td> </tr> <tr> <td>高幡不動</td> <td>10.5</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>程久保</td> <td>11.3</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>多摩動物公園</td> <td>12.3</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>中央大学・明星大学</td> <td>13.4</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>大塚・帝京大学</td> <td>14.3</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>松が谷</td> <td>15.1</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>多摩センター</td> <td>16.0</td> <td>36</td> </tr> </tbody> </table> <p>※100円区間は特別割引区間となります。（定期券料金は適用外となりますのでご了承ください。）</p> <p>出典：多摩都市モノレール株式会社ホームページ  <a href="http://www.tama-monorail.co.jp/">http://www.tama-monorail.co.jp/</a></p>	駅名	営業キロ	4所要時間	普通運賃 (小児)	通勤定期			通学定期			1か月	3か月	6か月	1か月	3か月	6か月	上北台	-	-	-	-	-	-	-	-	-	桜街道	0.7	2	100 (50)	7,800	22,230	42,120	4,200	11,970	22,680	玉川上水	1.5	4	200 (100)	7,800	22,230	42,120	4,200	11,970	22,680	砂川七番	2.5	6	泉体育館	3.0	7	250 (130)	9,750	27,790	52,650	5,250	14,970	28,350	立飛	3.6	9	高松	4.2	10	300 (150)	11,700	33,350	63,180	6,300	17,960	34,020	立川北	5.4	13	立川南	5.8	14	柴崎体育館	6.5	16	350 (180)	13,650	38,910	73,710	7,350	20,950	39,690	甲州街道	8.0	19	万願寺	9.3	21	400 (200)	15,600	44,460	84,240	8,400	23,940	45,360	高幡不動	10.5	24	程久保	11.3	26	多摩動物公園	12.3	28	中央大学・明星大学	13.4	30	大塚・帝京大学	14.3	32	松が谷	15.1	34	多摩センター	16.0	36
駅名	営業キロ					4所要時間	普通運賃 (小児)	通勤定期			通学定期																																																																																																																
		1か月	3か月	6か月	1か月			3か月	6か月																																																																																																																		
上北台	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																		
桜街道	0.7	2	100 (50)	7,800	22,230	42,120	4,200	11,970	22,680																																																																																																																		
玉川上水	1.5	4	200 (100)	7,800	22,230	42,120	4,200	11,970	22,680																																																																																																																		
砂川七番	2.5	6																																																																																																																									
泉体育館	3.0	7	250 (130)	9,750	27,790	52,650	5,250	14,970	28,350																																																																																																																		
立飛	3.6	9																																																																																																																									
高松	4.2	10	300 (150)	11,700	33,350	63,180	6,300	17,960	34,020																																																																																																																		
立川北	5.4	13																																																																																																																									
立川南	5.8	14																																																																																																																									
柴崎体育館	6.5	16	350 (180)	13,650	38,910	73,710	7,350	20,950	39,690																																																																																																																		
甲州街道	8.0	19																																																																																																																									
万願寺	9.3	21	400 (200)	15,600	44,460	84,240	8,400	23,940	45,360																																																																																																																		
高幡不動	10.5	24																																																																																																																									
程久保	11.3	26																																																																																																																									
多摩動物公園	12.3	28																																																																																																																									
中央大学・明星大学	13.4	30																																																																																																																									
大塚・帝京大学	14.3	32																																																																																																																									
松が谷	15.1	34																																																																																																																									
多摩センター	16.0	36																																																																																																																									

大項目	運賃施策
中項目	短距離割引
事例名	福岡市交通局「おとなりきっぷ」

- ・隣の駅（1 駅区間）を利用する場合には、初乗り区間運賃 200 円（小児 100 円）のところ、100 円（小児 50 円）で乗車可能
- ・IC カード「はやかけん」で自動改札機を通過しても利用可能である。
- ・地下鉄全線で適用されるが、JR 等にまたがる場合は適用されない。
- ・定期券で 1 駅乗り越しした場合は、適用されない。

**おトクで便利な 乗車券**

地下鉄線内1駅区間を乗り降りする場合にご利用いただける乗車券

**おとなりきっぷ**

適用区間 地下鉄全線(空港線・箱崎線・七隈線)

ご利用方法

- 券売機で100円(小児・割引50円)の「おとなりきっぷ」をお買い求めください。
- 「えふカード」を直接自動改札機に投入してもご利用できます。
- ICカード「はやかけん」で自動改札機を通過してもご利用できます。

※他の乗車券と組み合わせでの利用はできません。

定期券もご利用可 「おとなりきっぷ」は、定期券で1駅乗り越しした場合(定期券区間の1駅間から乗車する場合も含む)はご利用できません。(定期券で1駅区間を乗り越した場合は乗車料金の運賃料金の200円となります)

**Q1** どのように利用するのですか?

**A1** とのりの駅間で乗車される場合は、地下鉄各駅の券売機で「おとなりきっぷ」(大人100円、小児・割引50円)を購入してご利用ください。ICカード(えふカード・ICカード)でご乗車の場合は、自動改札機で、100円(小児・割引50円)をタッチいたします。

**Q2** 「おとなりきっぷ」で乗り越した場合はどうなるのでしょうか?

**A2** 「おとなりきっぷ」で乗り越した場合は、乗車駅で通常の運賃料金との差額分をいただきます。

**Q3** 定期券で1駅乗り越した場合は定期券区間の1駅間から乗車した場合は100円ですか?

**A3** いいえ、運賃料金の200円となります。「おとなりきっぷ」は、地下鉄線内において1駅区間を乗り降りする場合に限り、100円(小児・割引50円)でご利用いただけます。定期券での乗り越しににつきましては、2駅以上のご利用となりますので、「おとなりきっぷ」の適用外となります。(1駅間を乗り越す場合についても同様です。)

**Q4** JR筑豊線や西鉄貝塚線との連絡乗車券にも「おとなりきっぷ」は適用されますか?

**A4** いいえ、適用されません。重光駅から筑豊線へ行かれる場合や箱崎九大前駅から西鉄貝塚線へ行かれる場合、または、JR筑豊線から重光駅へ行かれる場合や西鉄貝塚線から箱崎九大前駅へ行かれる場合、地下鉄線内は1駅区間の乗車となりますが、「おとなりきっぷ」は、あくまで地下鉄線内において1駅区間を乗り降りする場合に限った割引のため、JR筑豊線や西鉄貝塚線との連絡乗車券は適用外となります。(箱崎九大前駅から西鉄貝塚線、西鉄貝塚線から箱崎九大前駅へ乗車される場合は、貝塚駅で一旦改札口を出て乗り降りしたため「おとなりきっぷ」と西鉄貝塚線分のきっぷを別々に購入した方がお得となります。)

出典：福岡市交通局ホームページ

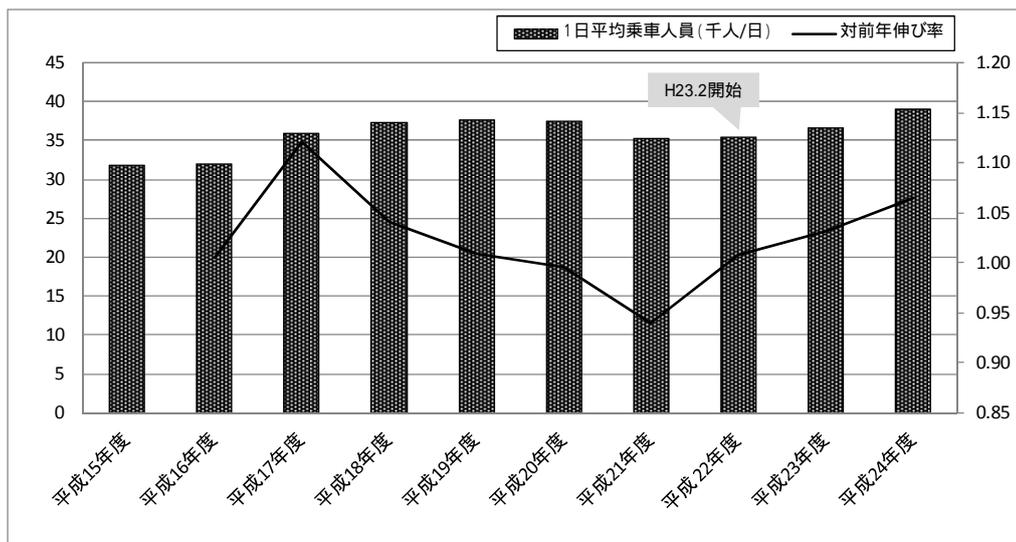
<http://subway.city.fukuoka.lg.jp/index.html>

② 短距離割引運賃導入前後の乗車人員の推移

ア) ゆいレール

ゆいレールの1日平均乗車人員の推移をみると、開業した平成15年度から平成19年度は増加していたが、平成20年度、21年度と減少した。近年は、平成22年度以降増加傾向に転じている。

短距離運賃を導入した平成23年以降（平成23年2月から導入）の対前年伸び率は、平成23年度が3.2%、平成24年度が6.6%である。



出典：沖縄県土木建築部都市計画・モノレール課資料をもとに作成

図 1日平均乗車人員、対前年伸び率の推移

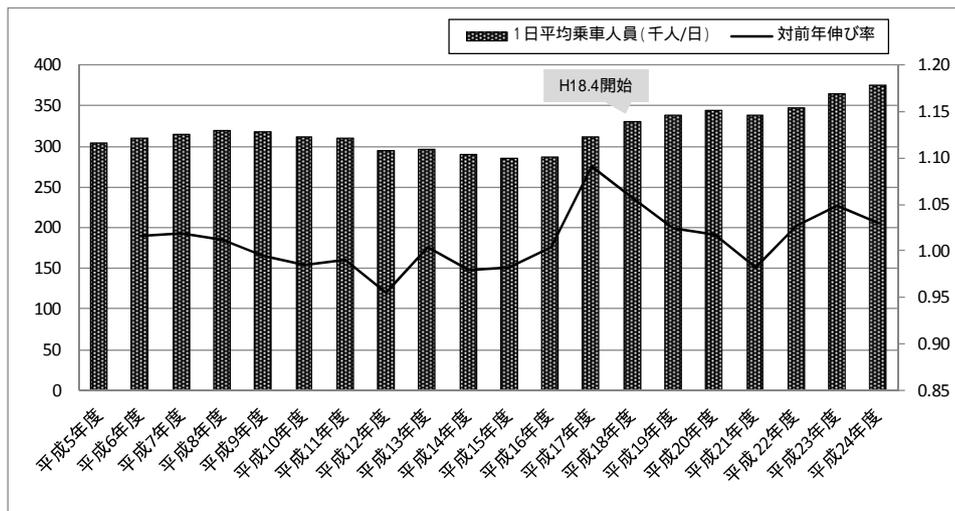
表 1日平均乗車人員、対前年伸び率の推移

	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
1日平均乗車人員 (千人/日)	31,905	32,049	35,940	37,393	37,713	37,545	35,272	35,551	36,689	39,093
対前年伸び率		0.5%	12.1%	4.0%	0.9%	-0.4%	-6.1%	0.8%	3.2%	6.6%

出典：沖縄県土木建築部都市計画・モノレール課資料をもとに作成

福岡市交通局(地下鉄)、多摩モノレールの乗車人員の推移は以下のとおりであるが、福岡市交通局(地下鉄)は七隈線開業(平成17年2月)の翌年に短距離運賃を導入、多摩都市モノレールは全線開通(平成12年)の翌年に短距離運賃が導入されているため、乗車人員の増加は主に新線の整備効果であると考えられる。

イ) 福岡市交通局 (地下鉄)



出典：福岡市交通局資料をもとに作成

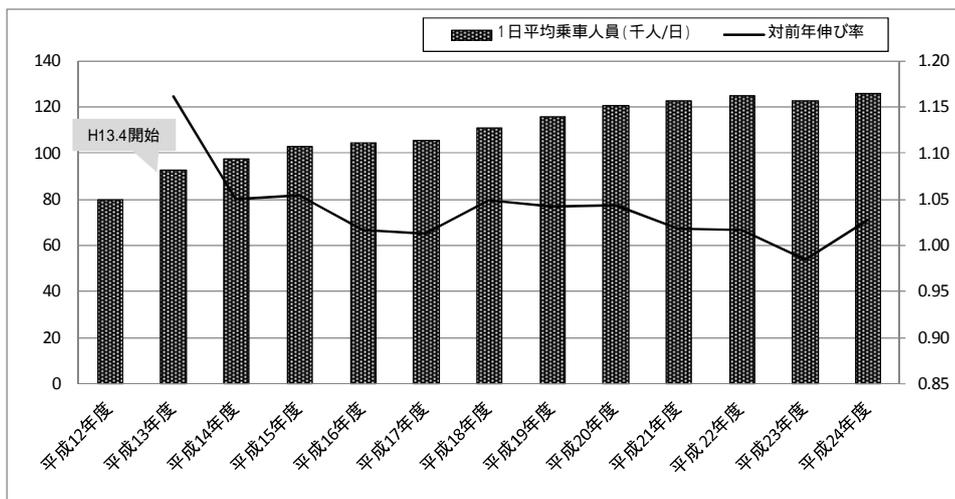
図 1日平均乗車人員、対前年伸び率の推移

開業の経緯

開業年月日	空港線		箱崎線		七隈線		累計 千口
	開業区間	開業 千口	開業区間	開業 千口	開業区間	開業 千口	
昭和56.7.26	荒見～天神	5.8					5.8
57.4.20	天神～中洲川端	0.8	中洲川端～浜園町	0.5			7.1
56.3.22	荒見～荒見	1.5					10.0
	中洲川端～博多(往)	1.4					
59.4.27			高宮町～荒立九大前駅	1.6			11.6
60.3.3	博多(往)～博多	0.3					11.9
61.1.31			荒立九大前～箱崎大町	1.8			13.5
61.11.12			箱崎九大前～貝塚	1.0			14.5
平成5.3.3	博多～福岡空港	3.3					17.8
17.2.3					橋本～天神南	12.0	29.8

出典：福岡市交通局パンフレット「人と人を結ぶ。今日と未来を結ぶ。」

ウ) 多摩モノレール



出典：多摩都市モノレール株式会社資料をもとに作成

図 1日平均乗車人員、対前年伸び率の推移

### (3) 鉄軌道とバスのサービス水準の比較

#### 《鉄軌道とバス路線のサービス水準比較のためのデータ作成方法》

##### ア) データ出典

- ・ 駅すばあと（株式会社ヴァル研究所）

##### イ) 経路探索条件

- ・ 駅すばあとにデータが存在する沖縄本島地区のバス停（1445箇所）を起点に設定。  
主要4事業者のダイヤ情報が含まれる。
- ・ 目的地を県庁周辺（沖縄県庁から半径500m圏内に存在するバス停17箇所）に設定。  
（下図参照）
- ・ 午前7時台に起点を出発し、終点に到達する経路（複数存在）のうち、「所要時間最小」と「運賃最小」の経路を抽出する。  
該当経路が複数ある場合は、出発時間が午前7時00分に近い経路を優先する。

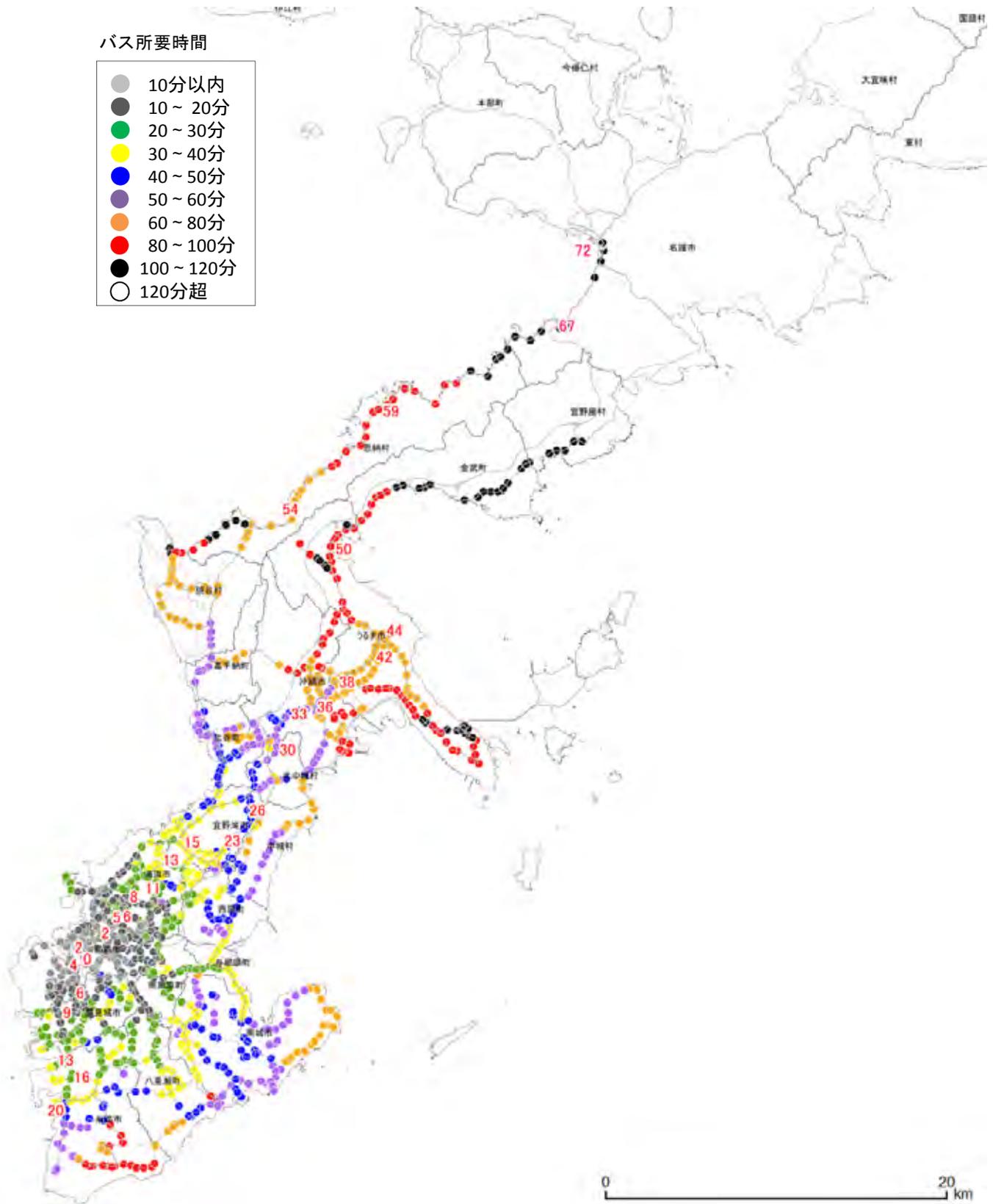
##### ウ) 出力データ

- ・ 所要時間（分）、営業距離（100m）、片道運賃（円）、乗換回数 等



図 県庁周辺エリアの設定（県庁を中心に500m圏内のバス停）

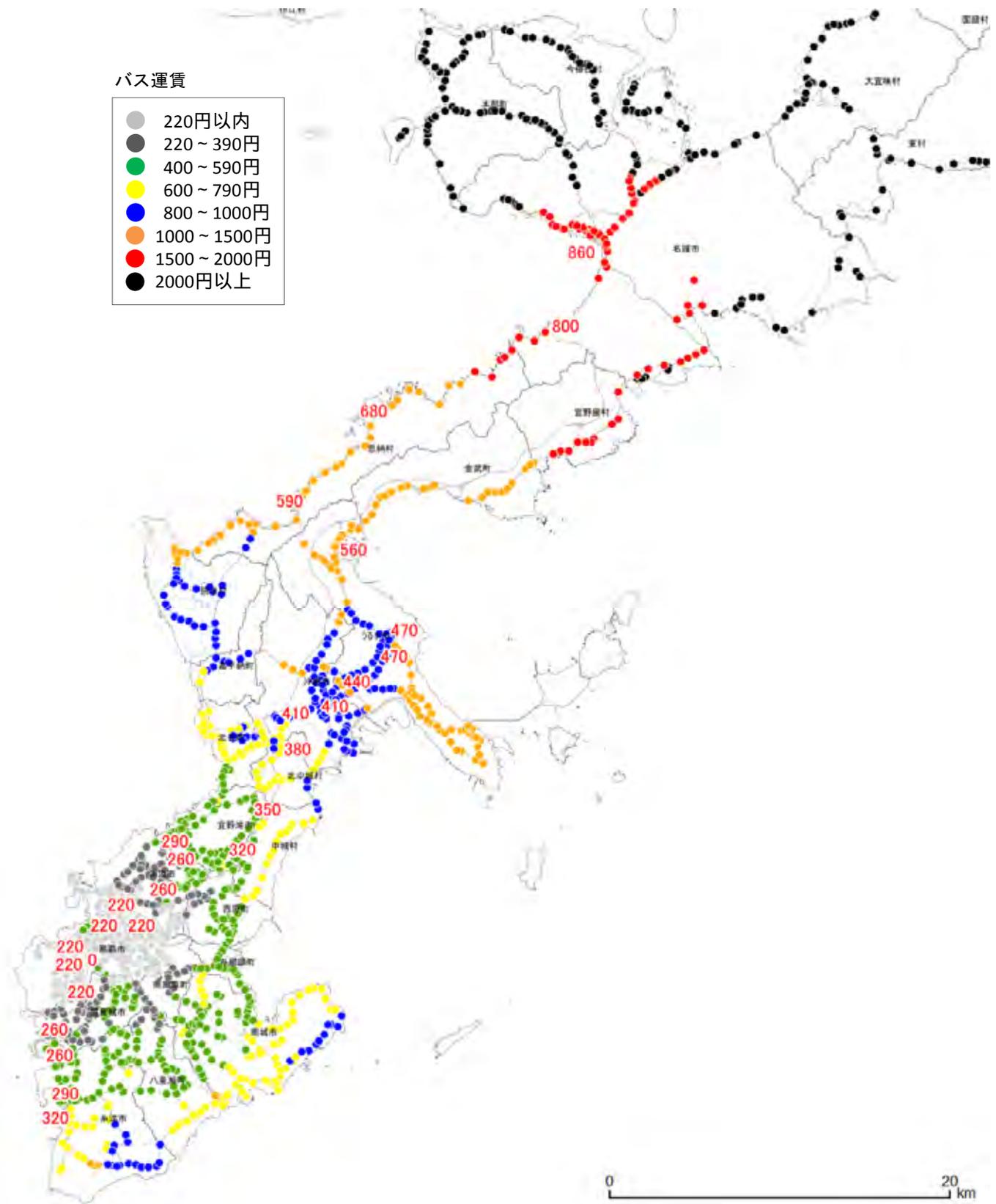
① 駅別・バス停別にみた県庁周辺までの所要時間の分布



(注) 赤太字は鉄軌道の所要時間(ケース1R各駅)

図 県庁周辺までの所要時間分布(所要時間最小ケース)

② 駅別・バス停別にみた県庁周辺までの運賃（大人普通）の分布



（注）赤太字は鉄軌道の運賃（ケース 1R 各駅）

図 県庁周辺までの運賃分布（運賃最小ケース）

#### (4) 沖縄の将来道路計画について

沖縄の将来道路計画（沖縄西海岸道路、小禄道路）の概要を以下に整理した。

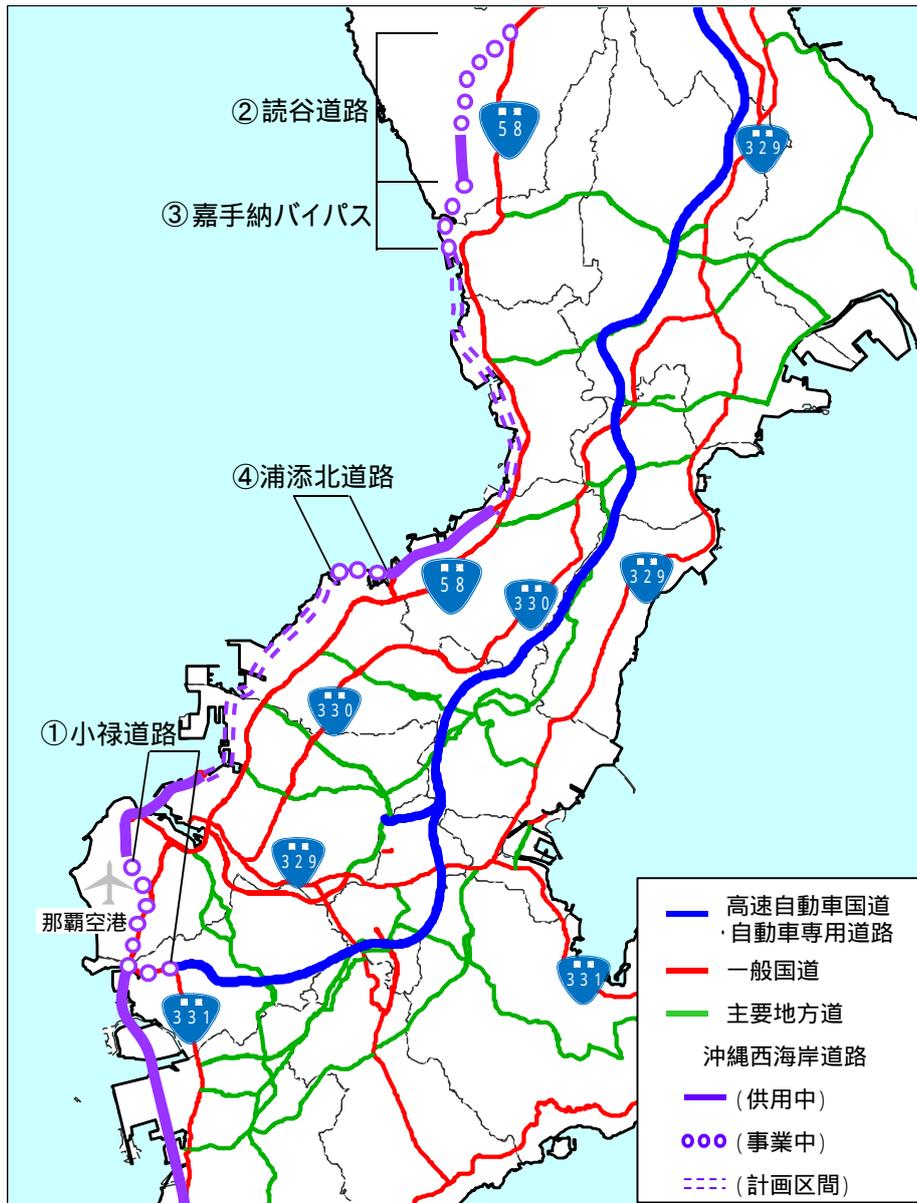


図 沖縄の将来道路計画（沖縄西海岸道路、小禄道路）

沖縄西海岸道路は、読谷村から糸満市に至る延長約 50 kmの道路であり、読谷道路、嘉手納バイパス、宜野湾バイパス（H12 年供用）、浦添北道路、那覇西道路（H23 年供用）、豊見城道路、糸満道路の約 27.0km について事業化され、整備が行われている。

次頁以降に上記 ~ の「個別道路事業の評価」資料を示す（小禄道路は新規事業採択時評価結果、その他の道路は事業再評価結果）。

なお、資料は全て、国土交通省道路局道路 IR サイト（<http://www.mlit.go.jp/road/ir/ir-hyouka/ir-hyouka.html>）の「個別道路事業の評価」資料より抜粋している

①小禄道路	L=5.7km	平成 23 年度新規採択
-------	---------	--------------

1) 事業概要



図 事業概要図

2) 費用便益分析結果

表 費用便益分析の結果

費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成 22 年度		
単純合計	601 億円	78 億円	680 億円
基準年における現在価値	408 億円	22 億円	430 億円

便益

	走行時間短縮	走行経費減少	交通事故減少	合計
基準年	平成 22 年度			
単年便益	33 億円	5.2 億円	3.6 億円	41 億円
基準年における現在価値	589 億円	91 億円	68 億円	748 億円

結果

	費用便益比	経済的純現在価値	経済的内部収益率
事業全体	1.7	319 億円	7.4%

3) 交通状況の変化

表 交通状況の変化 (H42)

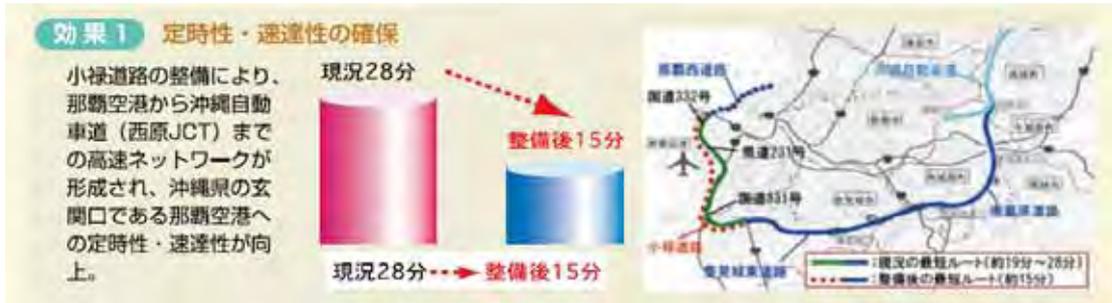
			整備なし (A)	整備あり (B)	差分 (B)-(A)	比率 (B)/(A)	
①新設・改築道路 [小祿道路: 5.7 km]	交通量	[台/日]	—	27,300	—	—	
	走行時間	[分]	—	4.7	—	—	
	走行時間費用	[億円/年]	—	23	—	—	
②主な 周辺道 路	国道58号 : 1.4km	交通量	[台/日]	53,900	50,600	-3,300	0.94
		走行時間	[分]	2.6	2.4	-0.2	0.92
		走行時間費用	[億円/年]	24	22	-2.0	0.92
	(県)那覇 空港線 : 1.7km	交通量	[台/日]	22,300	12,600	-9,700	0.57
		走行時間	[分]	2.9	2.6	-0.3	0.90
		走行時間費用	[億円/年]	11.0	5.7	-5.3	0.52
	国道331号 : 5.1km	交通量	[台/日]	29,800	20,000	-9,800	0.67
		走行時間	[分]	11.0	8.9	-2.1	0.81
		走行時間費用	[億円/年]	54.0	27.0	-27.0	0.50
	(県)那覇 内環状線 : 2.8km	交通量	[台/日]	24,300	19,600	-4,700	0.81
		走行時間	[分]	5.0	4.7	-0.3	0.94
		走行時間費用	[億円/年]	21.0	15.8	-5.2	0.75
	(主)奥武 山米須線 : 4.0km	交通量	[台/日]	18,500	14,700	-3,800	0.79
		走行時間	[分]	9.3	8.4	-0.9	0.90
		走行時間費用	[億円/年]	30.0	22.0	-8.0	0.73



図 主な周辺道路の位置

#### 4) 整備効果

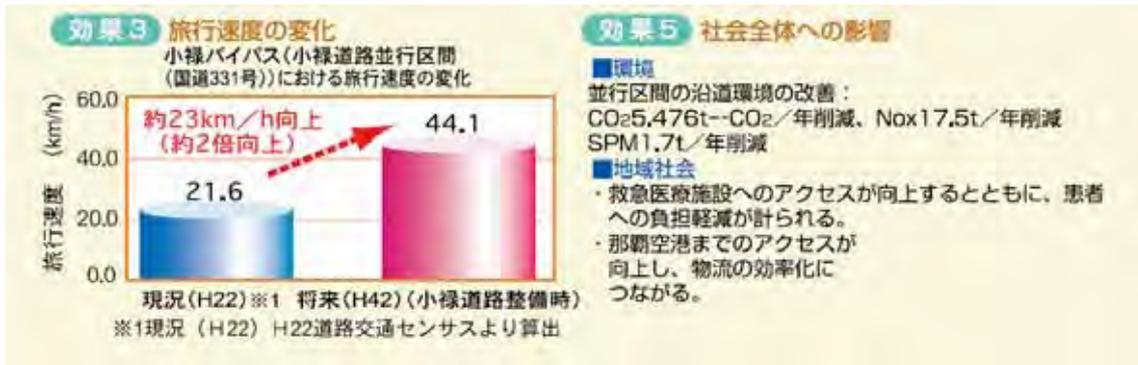
##### ① 時間短縮



##### ② 交通分散



##### ③ 混雑緩和



(資料出典) 道路事業パンフレット (国道 506 号小禄道路) 南部国道事務所

②沖縄西海岸道路（読谷道路）	L=6.0km	平成 25 年度再評価
----------------	---------	-------------

1) 事業概要



図 事業概要図

2) 費用便益分析結果

表 費用便益分析の結果

費用	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成 2 5 年度		
単純合計	594 億円	69 億円	663 億円
うち残事業分	436 億円	63 億円	498 億円
基準年における現在価値	536 億円	33 億円	569 億円
うち残事業分	320 億円	20 億円	340 億円

便益	走行時間短縮	走行経費減少	交通事故減少	合計
基準年	平成 2 5 年度			
単年便益	15 億円	2.3 億円	0.48 億円	18 億円
基準年における現在価値	1,519 億円	205 億円	78 億円	1,801 億円
うち残事業分	1,045 億円	121 億円	54 億円	1,221 億円

結果	費用便益比	経済的純現在価値	経済的内部収益率
事業全体※	3.2	1,233 億円	11.1%
残事業	3.6	881 億円	14.4%

この結果は、再評価時点の『事業全体』及び『残事業』の投資効率性を評価したものであり、新規採択時の結果とは異なる。なお、事業継続時に追加的に発生する便益のみが対象である。

3) 交通状況の変化

表 交通状況の変化 (H42)

			整備なし (A)	整備あり (B)	差分 (B)-(A)	比率 (B)/(A)	
①新設・改築道路 [読谷道路：6.0 km]	交通量	[台/日]	—	27,600	—	—	
	走行時間	[分]	—	6.8	—	—	
	走行時間費用	[億円/年]	—	36.0	—	—	
②主な 周辺道 路	国道 58 号 : 4.7km	交通量	[台/日]	48,100	33,400	-14,700	0.69
		走行時間	[分]	12.0	8.2	-3.8	0.68
		走行時間費用	[億円/年]	127.0	55.0	-72.0	0.43
	(県) 6 号 : 5.1 km	交通量	[台/日]	13,100	9,500	-3,600	0.73
		走行時間	[分]	17.0	14.0	-3.0	0.82
		走行時間費用	[億円/年]	48.0	38.0	-10.0	0.79
	(県) 16 号 : 1.0km	交通量	[台/日]	13,800	12,400	-1,400	0.90
		走行時間	[分]	4.3	3.6	-0.7	0.84
		走行時間費用	[億円/年]	11.0	7.7	-3.3	0.70



図 主な周辺道路の位置

③沖縄西海岸道路（嘉手納バイパス） L=3.2km 平成 23 年度再評価

1) 事業概要



図 事業概要図

2) 費用便益分析

表 費用便益分析の結果

費用	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成 23 年度		
単純合計	273 億円	59 億円	332 億円
うち残事業分	246 億円	59 億円	305 億円
基準年における現在価値	205 億円	16 億円	221 億円
うち残事業分	166 億円	16 億円	182 億円

便益	走行時間短縮	走行経費減少	交通事故減少	合計
基準年	平成 23 年度			
単年便益	5.2 億円	-0.01 億円	-0.47 億円	4.7 億円
基準年における現在価値	323 億円	33 億円	21 億円	377 億円
うち残事業分	323 億円	33 億円	21 億円	377 億円

結果	費用便益比	経済的純現在価値	経済的内部収益率
事業全体*	1.7	156 億円	6.4%
残事業	2.1	195 億円	8.4%

この結果は、再評価時点の『事業全体』及び『残事業』の投資効率性を評価したものであり、新規採択時の結果とは異なる。なお、事業継続時に追加的に発生する便益のみが対象である。

3) 交通状況の変化

表 交通状況の変化 (H42)

			整備なし (A)	整備あり (B)	差分 (B)-(A)	比率 (B)/(A)	
①新設・改築道路 [嘉手納バイパス : 3.2 km]	交通量	[台/日]	—	23,000	—	—	
	走行時間	[分]	—	4.2	—	—	
	走行時間費用	[億円/年]	—	18.0	—	—	
②主な 周辺道 路	国道 58 号 : 2.7km	交通量	[台/日]	56,700	44,500	-12,200	0.78
		走行時間	[分]	6.3	5.0	-1.3	0.79
		走行時間費用	[億円/年]	62.0	40.0	-22.0	0.65
	町道水釜大 木線 : 0.7 km	交通量	[台/日]	26,200	11,600	-14,600	0.44
		走行時間	[分]	3.7	3.5	-0.2	0.95
		走行時間費用	[億円/年]	17.0	7.0	-10.0	0.41
	(県) 16 号 : 1.0km	交通量	[台/日]	21,000	11,400	-9,600	0.54
		走行時間	[分]	4.7	3.3	-1.4	0.70
		走行時間費用	[億円/年]	17.0	6.6	-10.4	0.39



図 主な周辺道路の位置

④沖縄西海岸道路（浦添北道路）	L=2.0km	平成 23 年度再評価
-----------------	---------	-------------

1) 事業概要



図 事業概要図

2) 費用便益分析結果

表 費用便益分析の結果

費用	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成 23 年度		
単純合計	241 億円	12 億円	261 億円
うち残事業分	191 億円	21 億円	211 億円
基準年における現在価値	217 億円	7.0 億円	223 億円
うち残事業分	166 億円	7.0 億円	173 億円

便益	走行時間短縮	走行経費減少	交通事故減少	合計
基準年	平成 23 年度			
単年便益	44 億円	4.1 億円	1.3 億円	49 億円
基準年における現在価値	752 億円	72 億円	23 億円	846 億円
うち残事業分	752 億円	72 億円	23 億円	846 億円

結果	費用便益比	経済的純現在価値	経済的内部収益率
事業全体※	3.8	623 億円	13.0%
残事業	4.9	674 億円	17.3%

この結果は、再評価時点の『事業全体』及び『残事業』の投資効率性を評価したものであり、新規採択時の結果とは異なる。なお、事業継続時に追加的に発生する便益のみが対象である。

### 3) 交通状況の変化

表 交通状況の変化 (H42)

			整備なし (A)	整備あり (B)	差分 (B)-(A)	比率 (B)/(A)	
①新設・改築道路 [浦添北道路 : 2.0 km]	交通量	[台/日]	—	26,000	—	—	
	走行時間	[分]	—	4.0	—	—	
	走行時間費用	[億円/年]	—	19.0	—	—	
②主な 周辺道 路	国道 58 号 : 4.4km	交通量	[台/日]	78,600	71,200	-7,400	0.91
		走行時間	[分]	13.0	11.0	-2.0	0.85
		走行時間費用	[億円/年]	181.0	141.0	-40.0	0.78
	国道 330 号 : 2.7 km	交通量	[台/日]	71,400	65,200	-6,200	0.91
		走行時間	[分]	5.5	5.1	0.4	0.93
		走行時間費用	[億円/年]	69.0	58.0	-11.0	0.84
	(県) 153 号 : 1.5km	交通量	[台/日]	55,100	53,800	-1,300	0.98
		走行時間	[分]	5.6	5.4	0.2	0.96
		走行時間費用	[億円/年]	54.0	51.0	-3.0	0.94

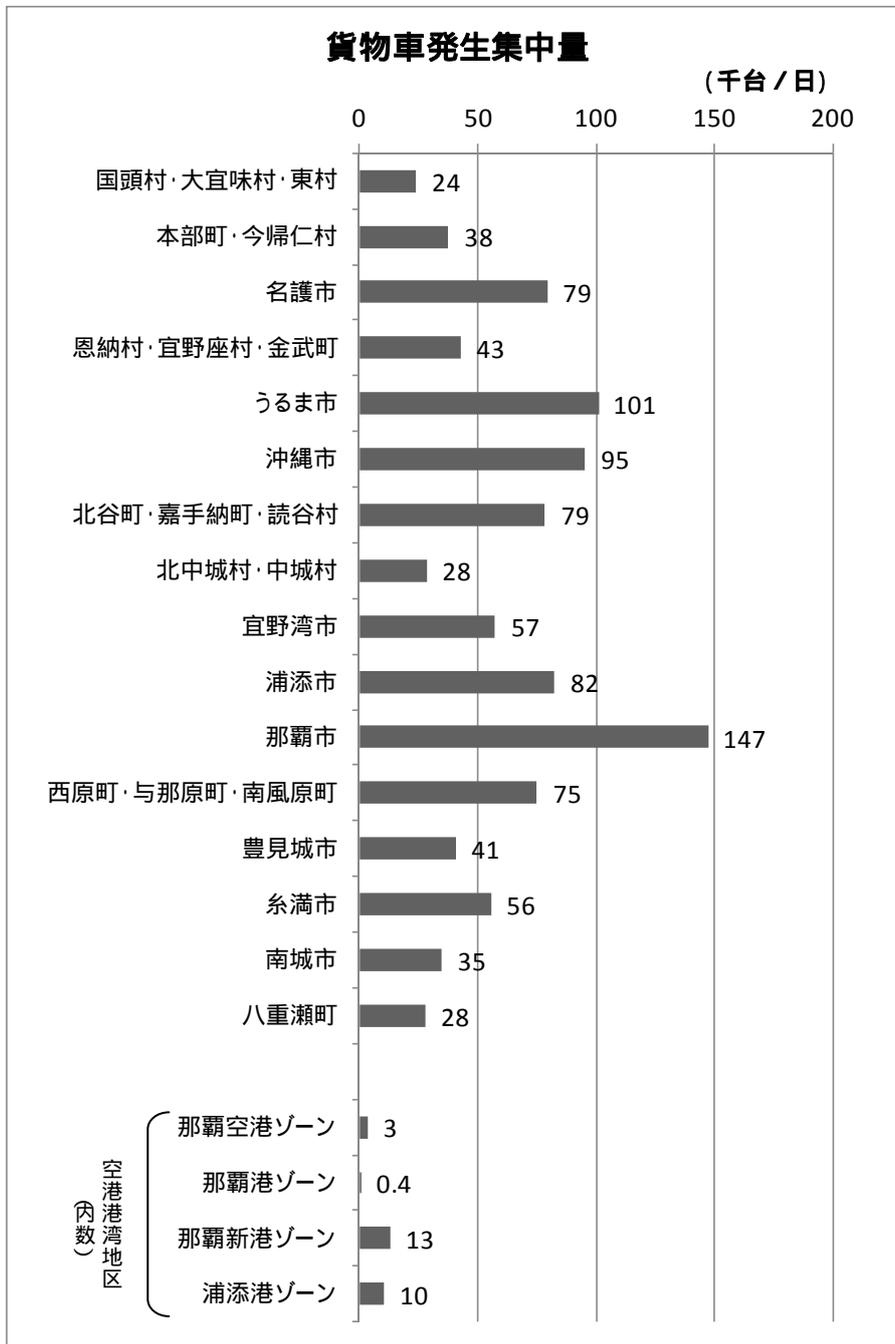


図 主な周辺道路の位置

(5) 沖縄県における貨物輸送の特性

道路交通センサスによる地域別貨物車発生集中台数は以下のとおりである。那覇市が 147 千台と最も多く、次いで、うるま市が 101 千台、沖縄市が 95 千台と続く。

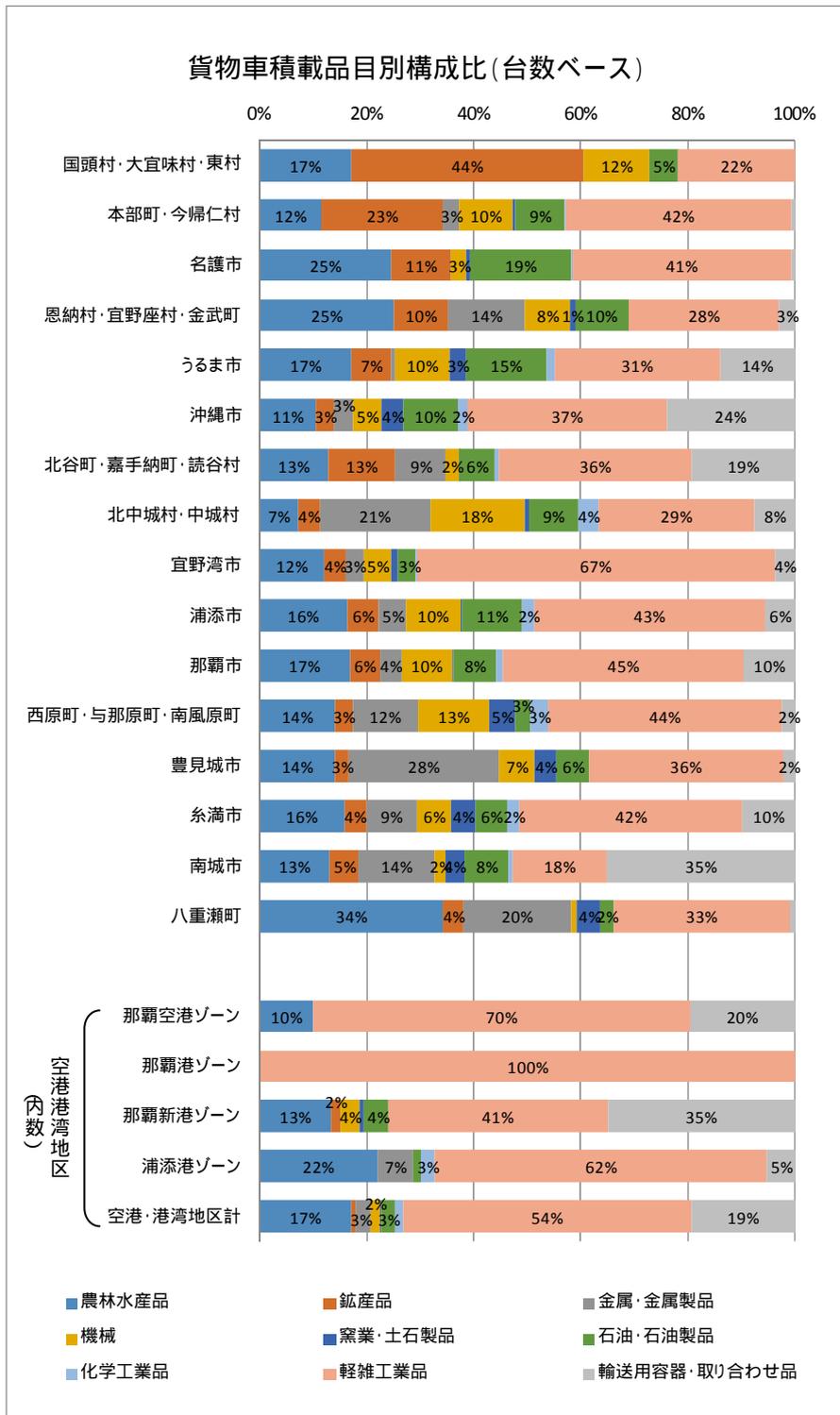
空港港湾地区では、那覇新港の発生集中台数が 13 千台と最も多い。



出典：道路交通センサス（H17）をもとに作成

図 地域別貨物車発生集中台数

貨物車の積載品目別構成比（台数ベース）は、空港港湾地区計でみると、軽雑工業品（紙・パ  
 ルプ、繊維工業品、食料工業品、日用品、ゴム製品・木製品・その他の製造工業品）が54%、輸  
 送用容器・取り合わせ品（コンテナ等）が19%、農林水産品が17%を占めている。



注) 空車、分類不能、不明を除く構成比

出典：道路交通センサス（H17）をもとに作成

図 地域別貨物車の積載品目別構成比（台数ベース）